

「はるみずき」栽培暦

11月

上
中
下

基肥
[N : 5 kg/10a]

12月

上
中
下
上
中
下

分けつ肥
[N : 2 kg/10a]
麦4~5葉期頃

1月

上
中
下
上
中
下

穗肥
[N : 5 kg/10a]
茎立期頃

2月

上
中
下
上
中
下

4~5
葉期

3月

中
下
上
中
下

出穂期
開花期

4月

上
中
下
上
中
下

実肥
[N : 6 kg/10a]
穂揃期~開花期頃

5月

上
中
下
上
中
下

成熟期

6月

上
中

収穫

編集・発行元
大分県農地活用・集落営農課(TEL:097-506-3596)

大分県農林水産研究指導センター 水田農業グループ(TEL:0978-37-1160)

作業のポイント

- 播種前準備
「豊作のまづ手はじめは土づくり」です！
・種子消毒を実施
・排水対策技術の施工

- 雑草防除
時期・草種に応じて除草剤を選定

- 麦踏み
3葉期～茎立期に2～3回実施する(暖冬年は多めに)

- 土入れ
追肥のあとに実施

- 赤かび病防除
小麦の防除適期は
1回目：開花始～開花期
2回目：1回目+10日頃

- 実肥
・硫安施用が望ましい
・赤かび病防除と同時に尿素葉面散布を行う場合のポイント
①尿素6%溶液を2回散布
②タイミングは開花期前後
③効果を高めるため、過乾燥時や大雨の前は避けること

小麦「はるみずき」 …栽培のポイント…

2020年10月版



撮影地：国東市大規模実証圃

・・・新品種「はるみずき」が登場します・・・

農研機構 西日本農業研究センターにより育成された、早生・短桿で栽培性に優れる高タンパク小麦「はるみずき」は、大分県では醤油・パン用小麦として認定品種へ採用されました。

「はるみずき」の特性

(現行品種「ニシノカオリ」との比較)

生育特性

①生育ステージが早い

出穂期は6日、成熟期は3日早い早生品種

②生育前半の葉色は同程度、やや株が開く

③穂は白い

④穂数はやや少なく、穂長は長い

1つの穂にたくさんの子実をつける偏穂重型品種

⑤稈長が低く、耐倒伏性にすぐれる

品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏程度 (0-5)
はるみずき	4.01	5.28	79	9.2	397	0.7
ニシノカオリ	4.07	5.31	91	7.9	450	1.7
比・差	6日早い	3日早い	12cm低い	1.3cm長い	12%少ない	倒伏軽い



収量・品質特性

①1穂粒数が多く、収量は多収

容積重は同程度、千粒重は軽い

②タンパク質含有率は同程度

③外観品質は同程度

穂発芽耐性および赤かび病耐性にやや優れる(育成地調べ)

品種名	子実重 kg/10a	容積重 g/L	千粒重 g	品質		病害・諸障害		タンパク質含有率 %
				概評 (1-6)	検査等級 (1-5)	赤かび粒 (0-5)	硝子粒 (0-5)	
はるみずき	509	845	37.1	3.6	3.6	0.0	8.8	14.2
ニシノカオリ	458	844	41.9	3.2	3.1	0.0	8.5	14.5
比・差	11%多収	同程度	4.8g軽い	同程度	同程度	同程度	同程度	



注1) 2015~2019年播奨励品種決定調査(標準播[11月17~21日播種]・条播)によるデータ。

注2) 倒伏、病害及び諸障害の発生程度: 0(無)~5(甚)、硝子粒のみ0~10。

注3) 使用ふるい: 2.0mm。子実重、容積重、千粒重: 水分12.5%換算値。タンパク質含有率: 原粒、水分13.5%換算値。

注4) 品質概評: 1(上上), 2(上上), 3(中上), 4(中中), 5(中下), 6(下)、検査等級: 1(1等上)~4(2等)~5(規格外)。

「はるみずき」栽培のポイント



単収350kg以上・子実タンパク13.5%以上

確実に収量を確保し
醤油用小麦に求められている品質(高タンパク)を達成する

①播種 播種期と播種量を守り、良好なスタートを切る

✓ 播種適期: 11月下旬~12月上旬

- ・早すぎると茎立が早まり、凍霜害に遭うリスクが高まる
- ・遅すぎると生育量が劣り低収となる

✓ 適正播種量: 7~8kg/10a (11月下旬・ドリル播の場合)

- ・晚播(12月中旬播)となる場合は、2~3割増量する
- ・散播で播種する場合は、出芽数確保のため2~3割増量する

②施肥 確実に施肥し、収量とタンパクを安定的に確保

基本施肥体系 (窒素施用量: kg/10a)

基肥 5 - 2 - 5 - 6

基肥、分けつ肥、穂肥は各圃場の地力や生育状況等に合わせて量を加減

✓ 穗肥: 適期・適量 施用する …植物体の体力維持、適正穂数の確保

「はるみずき」は茎立期~出穂期の生長スピードが早いため
散布適期を逃さないように注意

✓ 実肥: 適期に・確実に施用する …タンパク値向上

穂揃期頃の粒状硫安の散布が最も効果が安定する
(赤かび病防除時に尿素6%溶液の葉面散布[2回]でも可能)

③管理作業 生育環境を整え、品種の力を引き出す

✓ 麦踏み・土入れ、雑草防除を励行

✓ 赤かび病防除を防除適期に実施